

学区のあゆみと出来事

西暦	年号	あゆみと出来事
1692	元禄5年	池田綱政の命により津田永忠、沖新田開墾工事に着手。
1693	元禄6年	一番丁場（現在の江並、江崎）から九番丁場まで1,900ヘクタールに及ぶ国内最大の干拓地の形態整う。隣村をはじめ、多くは和気、邑久、赤磐、遠くは浅口郡方面より住民が漸次移住してきた。当時は家もごくまばらで、しかも時折海賊の襲来で丸裸にされることもあったという。
1709	宝永6年	現在地に沖田神社を遷宮する。新田の産土神（うぶすながみ）
1805	文化2年	伊能忠敬、沖新田の海岸一番（現在の江並）から九番まで測量。
1818	文政元年	沖新田東西之図を外七番の鹿之助が作る（岡山市重要文化財で原版は藤崎の元大庄屋藤原深蔵宅にあったが現在は岡山市立中央図書館に、複製版は操明小、操南公民館にあり）
1871	明治4年	廃藩置県。フランス軍艦（アスピラス船）三幡港（旭川の河口東部）に入港。住民大いに驚く。
1873	明治6年	しゅんしん 春 湊小学校（平井）が出来る。操南小学校の前身。
1876	明治9年	初めて郵便局が出来る。置局江並郵便局という。後に三幡郵便局と改称。
1885	明治18年	明治天皇岡山へ行幸。三幡港へ上陸され、同所の山長旅館で御休息の後、北白川宮以下の高官を従え、二頭立の馬車で旭川土手を後楽園へと向かわれた。奉迎する民衆は数万人に達したという。
1887	明治20年	各村々にあった小学校を統合し、操南尋常小学校が誕生。
1889	明治22年	三幡港に岡山水上警察本部が設置された。（牛窓・日比・下津井・玉島・北木島に派出所を置く）現在は、同じ場所跡に明治天皇上陸記念碑が建っている。
1903	明治36年	三幡港は高松港への連絡点として脚光をあびる。県下唯一の蒸気船の発着港として四国・大阪行の汽船“玉藻丸・児島丸”が三幡港から出ており、岡山の海の表玄関として当時の三幡は旅行者で大いににぎわっていた。また、ときには100台以上の人力車がお客を乗せて三幡土手を往来する姿は壮観であったという。
1904	明治37年	当地方にコレラなどの流行病がはびこり、死する人々多く、江並地区の守護神として江並道通宮を建立。毎年7月末の日曜日に盛大に夏祭りが行われている。